

公の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	徳島市営紺屋町地下駐車場		
指定管理者	株式会社バルと徳島市中心市街地まちづくり協議会の共同体	担当課	経済政策課
指定期間	令和6年度～令和10年度	公募・非公募の別	公募
施設の所在地	徳島市紺屋町	事業の概要	1)駐車場の利用に供する業務 2)駐車場の施設、設備及び物品の維持管理に関する業務 3)駐車場の利用料金に関すること 4)その他駐車場の管理に監視し市長が必要と認める業務
施設の概要	*供用開始:昭和60年2月19日 *形式:自走式駐車場 *収容台数:287台 *構造:鉄筋コンクリート造地下2階、10,019㎡		

	項目名	令和5年度	令和6年度	項目名	令和5年度	令和6年度
利用状況に関する事	利用台数	87,546台	79,652台			
収支状況に関する事	指定管理料	0千円	0千円	人件費	23,516千円	19,959千円
	利用料収入	65,804千円	61,891千円	管理費	23,849千円	22,821千円
	その他収入	671千円	662千円	その他	18,768千円	35,000千円
	収入実績(総額)	66,475千円	62,553千円	支出実績(総額)	66,133千円	77,780千円

評価基準・評価項目		指定管理者自己評価コメント	担当課評価
施設管理体制	(1) 法令等遵守	(1)法令等の遵守、(3) 職員研修、(4) 利用促進の取組み、(5)設備・備品管理、(6)安全管理体制、(7)緊急の体制につきましては事業計画書に沿った運営を行ない、指定管理者として問題なく運営を行なうことが出来ました。 (2)職員配置につきましては、令和6年度10月に契約社員1名が本社に移動、12月にパート社員1名が退職となりましたが、その分正社員がサポートに入るなどし、運営体制に支障は出さず、指定管理者として問題なく運営を行なうことが出来ました。	A
	(2) 職員配置		
	(3) 職員研修		
	(4) 利用促進の取組み		
	(5) 設備・備品管理		
	(6) 安全管理体制		
	(7) 緊急時の体制		
利用者に関する業務	(1) 利用状況	(1)利用状況につきましては新型コロナの影響を受け、利用台数が平成31年度と比べ、令和5年度は73.4%、令和6年度は66.7%となっています。夜間の飲食目的の利用者が減少した感があります。 (2)平等な利用、(3)利用料金、(5)個人情報保護、(6)サービス向上の取組につきましては事業計画書に沿った運営を行ない、指定管理者として問題なく運営を行なうことが出来ました。	A
	(2) 平等な利用		
	(3) 利用料金		
	(4) 接客対応		
	(5) 個人情報保護		
	(6) サービス向上の取組		
施設設備維持管理	(1) 保守点検業務	(1)保守点検業務、(2)清掃等維持管理業務、(3)修繕等維持管理につきましては事業計画書に沿った運営を行ない、指定管理者として問題なく運営を行なうことが出来ました。	A
	(2) 清掃等維持管理業務		
	(3) 修繕等維持管理		
事実業務	(1) 企画運営事業	事業内容として、指定管理の募集要項、要求水準書には含まれておりません。	A
	(2) 自主事業		
経理状況	(1) 施設収支状況	(1)施設収支状況・・・雑収入を除く駐車場収入で平成31年度と比べ、令和5年度は70.9%、令和6年度は66.7%となっております。 (2)指定管理者経営状況・・・令和4年度5年度と黒字となっておりますが、徳島市のコロナ禍対策の納付金減免処置が無くなり、令和6年度は約1,500万円の赤字となってしまいました。 (3)経費の縮減・・・職員一同経費の削減に励み、計画予算から令和5年度は約182万円の増加となりましたが、令和6年度は約522万円の削減が図れました。	A
	(2) 指定管理者経営状況		
	(3) 経費の縮減		
評価基準		S:優れている（協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。） A:適正に管理されている（協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。） B:一部に改善を要する（協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。） C:多くに改善を要する（協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。）	

担当課総合評価コメント		総合評価
施設の保守管理や日々のメンテナンスも適切に実施されており、利用者に良好な駐車環境を提供していただいています。しかし、本駐車場は、中心商店街の衰退の影響やコインパーキングの増加の影響で、利用数の減少が著しく、利用台数は30年前の1/4に減少しています。特に、コインパーキングは、本駐車場の周辺300m圏内に1,000台以上あると見られますが、現在も増加しているため、今後も指定管理者においては厳しい経営が続くと見込まれます。市に対しては、計画どおりの納付金を納めていただいており、市も協力して収益確保に努めてまいります。		A
総合評価基準	S:優れている (各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている (各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する (各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する (各評価基準ごとの担当課評価にCがある。)	